

試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名: 晩秋どり用アールスメロン新品種「アクアプリンセス」の育成			
[要約] 隔離床晩秋どり栽培用として育成したアールスメロンの新品種「アクアプリンセス」は、従来の品種に比べ、果実がやや大きくなり、果実の形状が良く、果実外観を左右するネットが優良となる点が特徴である。			
キーワード(専門区分) 育種 (研究対象)野菜類—メロン (フリーキーワード) アールスメロン 晩秋どり 新品種 アクアプリンセス			
実施機関名 (主査)農業総合研究センター 暖地園芸研究所 野菜・メロン研究室 (協力機関) 千葉県温室組合連合会生産部 (実施期間) 1995年度～2001年度			

[目的及び背景]

本県では独自の初夏どり及び秋どり用温室メロン「アクアクイーン」を育成し、ブランド名「千葉アクアメロン」として有利販売を行っている。これに続いて、需要の高まる晩秋どりの優良品種を要望されていたことから、果実の肥大性に優れ、果実外観の揃いが優れる11月下旬から12月上旬どりのF₁品種を育成する。

[成果内容]

1. 育成経過(図1)

交配母本は、1995年から暖地園芸試験場(現在の暖地園芸研究所)で4か年間純系選抜を行ってきた「千葉13号」(千葉在来系温室メロン)の暖地園試選抜系統で、交配父本は、1985年に交配した「夏系7号」×「夏系6号」のF₁に、1986年「夏系7号」を一度戻し交配した個体の自殖後代選抜系統(「アクアクイーン」の交配父本)である。

この両者を1999年に交配して得られたF₁系統(AQ試交配1号と仮称する)である。その後、共同研究契約に基づき千葉県温室組合連合会とF₁特性検定を行い、優良なものとして選定し、2002年6月に新品種「アクアプリンセス」として品種登録の出願を行った。

2. 育成品種の特性(表1、表2、表3)

本品種は11月下旬から12月上旬どりに適し、従来の品種(「千葉F31号」)に比べて、果実が肥大しやすく、ネットの密度、盛上り及び揃いなどの果実外観が良好となり、果実の糖度、食味は従来の品種と同等に良好である。また、本品種は、本県産の御歳暮贈答用として期待されるF₁品種である。

[留意事項]

- 雌花着生率はやや低下するので、着果節位付近の交配する側枝(結果枝)は4側枝程度を選定して交配・着果させる。
- 施肥量、栽培管理温度は従来の品種(「千葉F31号」)と同様である。

[普及対象地域] 県下全域の温室メロン隔離床栽培生産者

[行政上の措置] 2003年2月20日に出願公表された。

[普及状況] 2003年晩秋作から各生産者で本格的に栽培する。

[成果の内容]

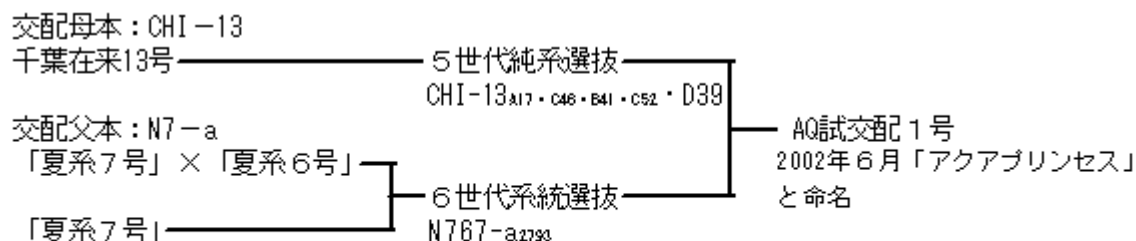


図1 品種育成図

表1 摘心前の生育、平均雌花着生率及び果実特性 (2000年)

品 種 名	摘心前の生育		平均雌花着生率 (11~20節間) %	果 重 g	果形z	ネットz				食味y
	草丈 cm	葉数 枚				密度	盛上り	揃い	糖 度 (Brix)	
AQ試交配1号	109	19.9	57.5	1,343	4.1	3.9	3.6	3.8	12.7	3.2
AQ試交配2号	113	20.5	57.9	1,283	4.0	3.9	3.7	3.7	12.9	3.2
千葉F31号	117	21.1	62.9	1,327	4.0	3.5	3.2	3.4	13.4	3.5

z, 果形及びネットは、優れる：5～劣る1とした(表2も同じ)

y, 食味は、優れる：5～普通：3～劣る：1として評価した(表2も同じ)

*千葉F31号は対照品種(F1品種)である(表2も同じ)

表2 摘心前の生育、平均雌花着生率及び果実特性 (2001年)

品 種 名	摘心前の生育		平均雌花着生率 (11~20節間) %	果 重 g	果形z	ネットz				食味y
	草丈 cm	葉数 枚				密度	盛上り	揃い	糖 度 (Brix)	
AQ試交配1号	94	19.3	67	1,383	4.3	4.2	3.9	4.2	15.3	4.4
AQ試交配2号	94	19.3	66	1,398	4.4	4.3	4.0	4.4	15.1	4.2
アアカーン	100	20.0	80	1,141	4.2	4.0	4.0	4.0	15.7	4.6
千葉F31号	97	19.9	68	1,357	4.1	3.9	3.8	3.8	14.9	4.2

表3 AQ試交配1号、同2号の年度別及び現地農家の収穫物の評価

品 種 名	平成11年度所内			平成12年度所内			平成13年度所内			平成13年度現地農家			総合評価
	果重	外観	内容	果重	外観	内容	果重	外観	内容	果重	外観	内容	
AQ試交配1号	◎	○	○	◎	△	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎
AQ試交配2号	○	○	○	×	◎	△	◎	◎	◎	○	○	○	○

注:1 対照品種は、平成11年がHA5×N7-b、平成12、13年が千葉F31号とした

注:2 評価は、かなり優れる：◎～やや優れる：○～ほぼ同等：△～やや劣る：×～かなり劣る：××とした

注:3 気象条件は、平成11、13年が平年近似年、平成12年が異常気象(寡照)年であった

[発表及び関連文献]

平成11、12、13年度野菜試験研究成績概要書(公立)
関東東海(I)野菜・茶業試験場編